



# 精華人

SEIKAJIN

新たな50年を描く

vol.27  
2019.03

特集

精華學藝祭

木野会新役員紹介

木野会支部紹介

精華人の活躍

15 15 13 12 01

## 精華人の活躍

マンガ学部マンガ学科2011年卒業

本多 創 さん

ストーリーマンガコース卒業生 本多創さんが作画を担当する『オカルトちゃんは語れない』の連載が、『ヤングマガジン サード』2019年Vol.2で、1月より始まりました！第67回ちばてつや賞マンガ部門にて準大賞受賞もされています。



監修:ペトス 原作:橋本カエ 漫画:本多創



芸術学部デザイン学科2003年度卒業

『moppi』江頭 伴枝 さん



2年前前から、自分の世界観を活かした活動がしたいと思うようになり、マルシェやネットで展開しています。現在は、描く方の魅力を写しとる『Energyart』や、アルファベットをモチーフにした『もじむし』(ぬいぐるみ)を制作しています。私の作品を手にとられた方が笑顔になるような作品づくりを目指しています。

URL <https://tomoeegashira.amebaownd.com/>  
Instagram @moppi.art



### 木野会奨励制度

京都精華大学同窓会木野会では、学生の支援を目的とした京都精華大学同窓会「木野会」活動奨励制度を設置しています。学生の自主的な研究・制作活動を支援することで、研究のさらなる発展と学修意欲を高めてもらうことを目的とし、学生からの申請に対し、学内選考委員会が推薦する個人、団体に対して奨励するものとしています。

#### 京都精華大学同窓会「木野会」活動奨励制度 2018年度奨励者一覧

- 215N022 佐々木 隆貴 (a) ①商業誌を目指したマンガ制作、自身の作品の広報活動  
②関西コミティア54、マンガ個人市場jへの参加  
①個人によるマンガ制作、関西コミティアへの参加。②関西コミティアに参加して作品を販売し、個人作家としての活動に繋げたい。
- 216P003 大石 いずみ (b) 日本タイ国際交流展覧会「Time in Thai 2」  
タイ国立チェンマイ大学ギャラリーで開催される交流展に参加するにあたり、現地制作に取り組む。
- 217D005 奥田 有聡 S-lab 2018  
プロダクトデザイン学科の有志学生によるワークショップやグループワークを通してグループ全員のデザインスキルのレベルアップと制作環境の充実を目指す。
- 215P008 桑園 創 (c) “Waiting” 園上雄志、桑園創二人展  
代官山ヒルサイド内ギャラリーにて企画展を開催。現代における絵画の可能性を提示する。
- 216J004 岸本 秋乃 (d) ①「波紋」展 ②金谷美術館コンクール2018  
③Galeria Punto 企画展  
①「日本画×立体造形」をコンセプトに異なるジャンルの交わりと広がり表現する。②F10号以内の作品が対象のコンクール。出品作に対して審査スタッフによるコメントがつくのが特徴。意欲向上につなげたい。③アーティストを目指す若手に発表の場を提供する企画展。来場者による投票制を設けており、自分の作品がどのように見られているか知ることができる。
- 217R001 秋本 真生 (e) 2 回生有志公演  
演劇部2回生有志による公演。演劇部ではできない現代劇に取り組むことで、新しい刺激を得たい。



### お問い合わせ

#### 京都精華大学同窓会「木野会」

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137 (京都精華大学 経営企画グループ内)  
TEL. 075-702-5201 FAX. 075-702-5391 URL. <https://seikajin.com/>

会員情報に変更のある方はこちらへご連絡ください。  
[kinokai@kyoto-seika.ac.jp](mailto:kinokai@kyoto-seika.ac.jp)

# 精華學藝祭

1968年に開学したわたしたちの母校・京都精華大学が50年という節目を迎えました。そして、その年に入学したわたしたちは70歳となり、古希という人生の節目を迎え、いやおうなく人生を振り返る機会となりました。

芸術にせよ学術にせよ、己の道を究めようとするれば孤独になりがちですが、歩んできた道を振り返れば、仲間、家族、恩師、後輩といった存在の大切さに気づかされるものです。そんな仲間たちとの輪の中で元気をもらい、また己の道へと歩んでいく。そんないつでも帰れる場所が母校なのでないでしょうか。1期生から在学生まで、すべての精華人にとって、たった一つの母校がこれからもあり続けることを願って、この精華學藝祭は開催されました。



## 卒業生の心に残る「自由自治」

京都精華大学木野会会長 山田隆

開学50周年、誠にありがとうございます。本日は、「自由自治50年、精華學藝祭―木野会―」と題して、みなさまと共に盛大に祝福させていただきます。

今から50年前、京都市北部にある木野という場所に、美術学部と英語英文科の学生200名からなる小さな短期大学が生まれました。10年後には念願の4年制大学となり、今や5学部、3000名を要する総合大学、京都精華大学へと発展し、自由自治を掲げて動き出した本大学

は、3万人を超える卒業生を輩出しました。自由自治という言葉には、目に見えない何かを探そうとする得体の知れなさを感じます。その感覚は、時代が移り変わっても、我々卒業生の心のどこかに存在しているのではないのでしょうか。

9代目学長であった島本流先生は、「大学は、創立から半世紀、つまり50年で基礎が固まる。それをベースに半世紀単位で物事を考える時代になった」と述べられています。またウスビ・サコ学長も、京都精華大学ダイバーシティ推進宣言を元に、「多様なバックグラウンドや属性を持つ人々が、違いを受容しながら対等に機会が開かれることを推進する」と言われています。本大学も、時代や社会の変化に対応できる人間性が培われる大学へと動き出しています。



さて、この木野会も設立30年を迎え、初期の卒業生も古希を迎えることとなりました。卒業生は作家として、社会人として、家庭人として、各分野でご活躍のこととお喜び申し上げます。

この學藝祭では作品展示、トーク、ライブ、ワークショップ、ホームカミング、同窓会、そして復活したラグビー部の練習試合も、大学のグラウンドにて行います。

みなさまのおかげで、開学50周年にふさわしい木野会のイベントになりました。ありがとうございます。参加いただくみなさまには、大学の思い出に浸っていただくと共に、新たな出会いや親交を深めていただく機会になればと思っています。さらに会場をお貸しいただいた国立京都国際会館ならびに、2年8ヶ月の間をかけて準備を進めていただきました各実行委員会のみなさまに感謝し、御礼を申し上げます。ありがとうございます。

最後に、京都精華大学のますますの充実と発展を願うと共に、今日ここに集まっていたいたみなさまのご多幸、ご健勝を心から祈念申し上げます、開催の挨拶と致します。

## 「創立者」のいない大学

京都精華大学理事長 石田涼

本日は、精華學藝祭―木野会―の開催、おめでとうございます。京都精華大学には、校章も校歌もありません。これは形のあるものでみんなを統合するというのではなく、その精神性や理念において、京都精華大学というものまともりを作っていくという考えの現れだと考えます。

また京都精華大学には、特定の創始者もいません。厳密には、京都精華女子高校のみなさまがこの京都精華短期大学を作られたわけですが、特定の誰か、例えば新島襄や福沢諭吉のように誰か一人が大学を作ったというのとは意味が異なります。

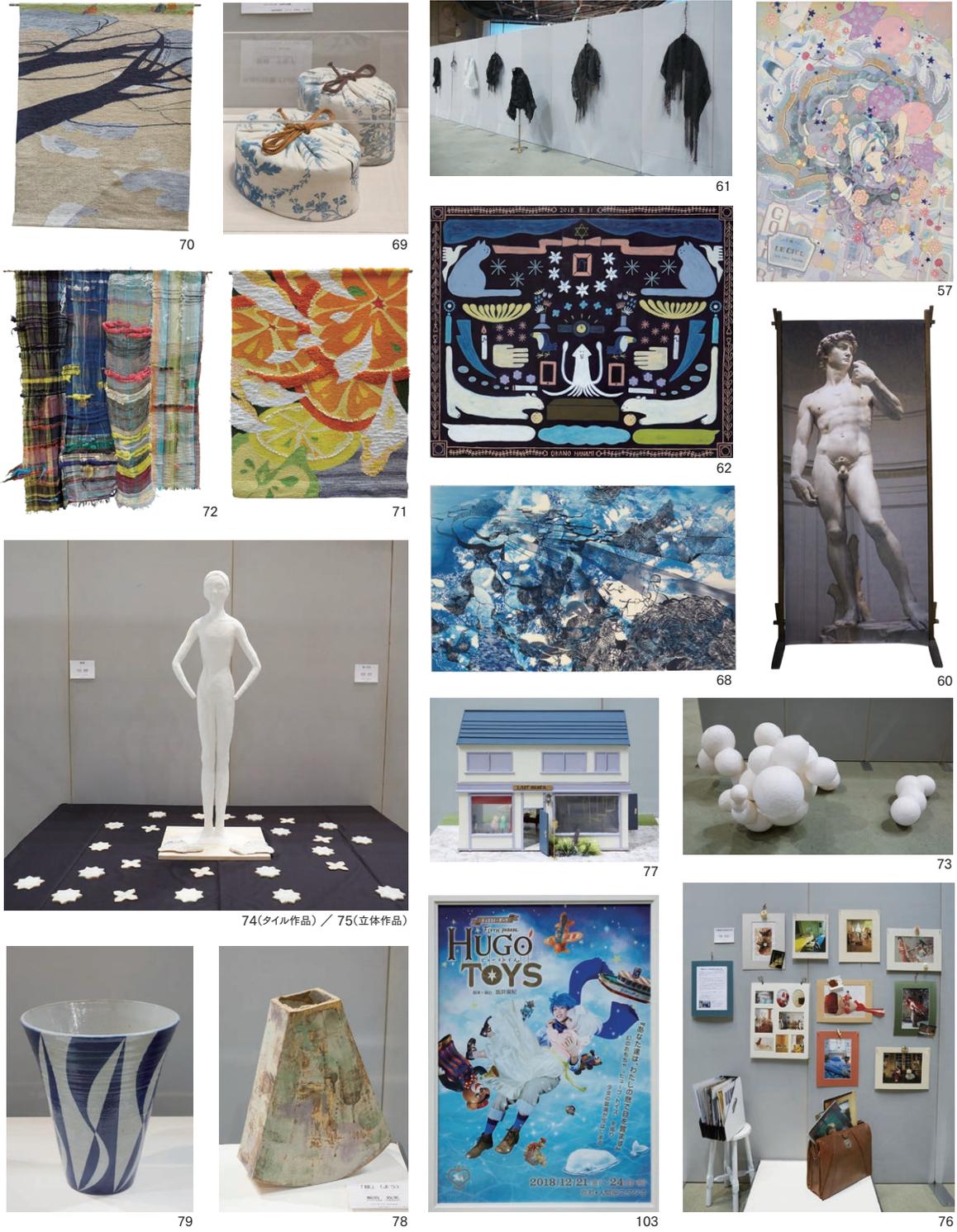
京都精華大学では精神的な意味の創立者として、岡本清一初代学長を位置付けておりますが、特定の創始者がいないという意味では同じことと思えます。

つまりこの京都精華大学は、誰か特定の人が作ったのではなく、この大学に関わり、参加した方みなさんが作り上げているということですから、教職員だけではなく在学生、同窓生、卒業生のみなさんも創立者の一人です。

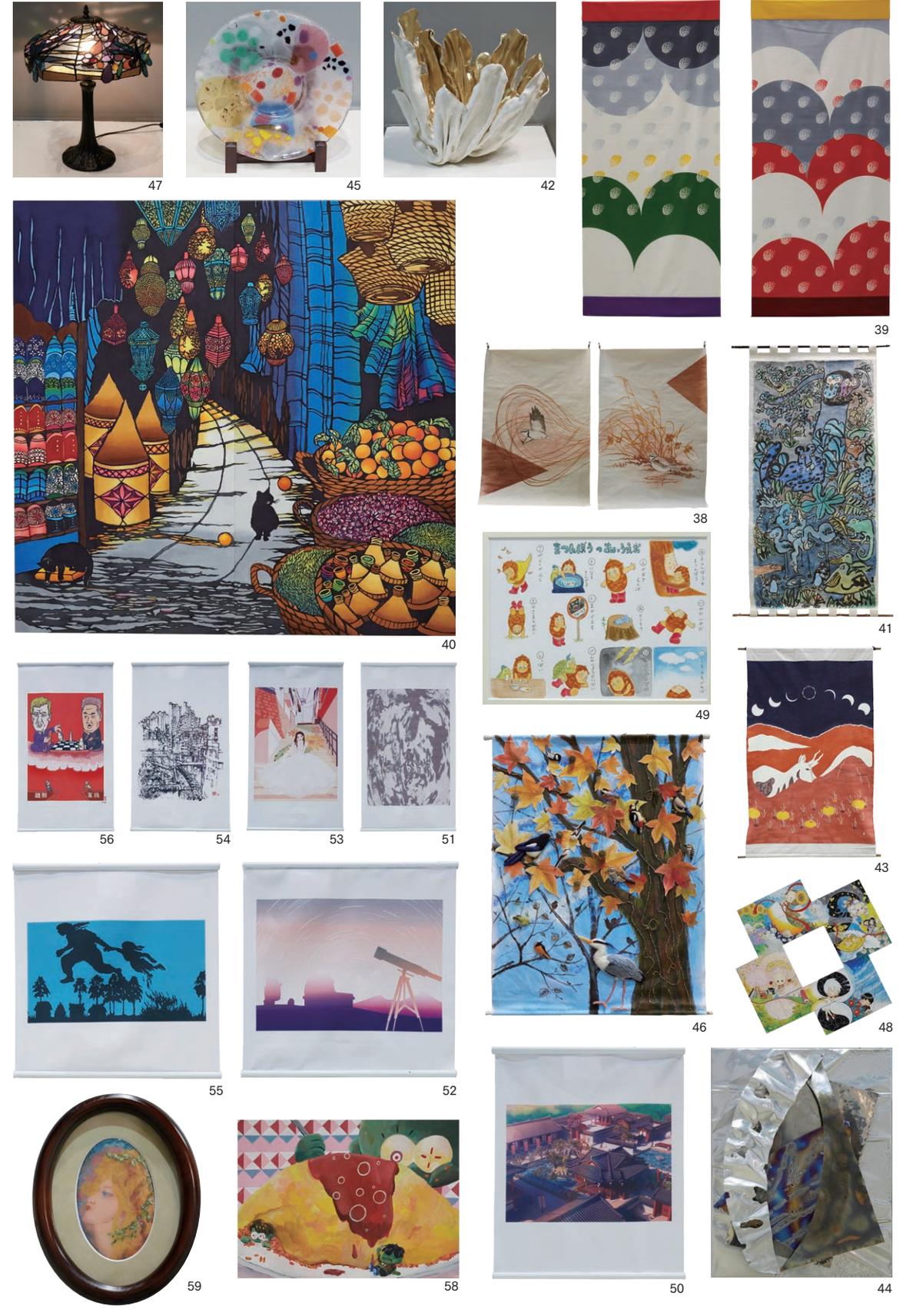
京都精華大学は、みなさんの活動を通して日々新しく生まれ変わっている大学です。だから、みなさんが社会に出て様々な方面でご活躍されることで、それがまた大学の評価となり成長させていくことになると思います。本日の學藝祭につきましても、卒業生のみなさんの活動の一つとして、大学の新しい発展の一つに寄与するのではないのでしょうか。

今後も京都精華大学の発展に向けて、卒業生のみなさんのご協力をよろしくお願い致します。本日は本当におめでとうございます。





38.ヒール メリダ「カタアシチドリ天国」/ 39.今村 敬子「Scene17 雪」「Scene17 花」/ 40.松谷 歩「夢旅」/ 41.島野 千鶴子「わたしのジャングル」/ 42.谷本 由子「white2015」/ 43.Kazuo O. Youn「オレゴンの大地」/ 44.和田 鈴子「宙」/ 45.田中 久美子「ドット」/ 46.寺本 典子「大樹に寄せて」/ 47.奥村 敦子「とんぼ」/ 48.濱田 麻衣子「四季花天女」/ 49.近藤 るい子「まつぼろのあいうえお」/ 50.李 滢「ウェブトゥーン背景」/ 51.崔 永喆「夢幻」/ 52.李 進熙「無題」/ 53.金 素媛「無題」/ 54.陳 宰源「お家の前」/ 55.高 慶日「無題」/ 56.尹 起憲「KOREA」/ 57.近藤 恋都美「Free Fall」/ 58.川村 菜月「おいしく、おきく、」/ 59.中田 祐子「祈り」/ 60.前田 好雄「IL DAVID DI MICHELANGELO(ミケランジェロのダビデ像)」/ 61.Shiroco「流露=Ryuro」/ 62.岡野 花海「おかわらない8月をおわらせる」/ 68.増田 晴香「黄昏時」/ 69.宮崎 千佐子「茶箱の仕覆(しふく)」/ 70.日下部 美和「春を待つ」/ 71.平井 恵子「Vitaminなひととき」/ 72.田島 可奈「自由」/ 73.村田 直子「KOTODAMA」/ 74.本田 春野「憧憬」/ 75.安岡 浩然「森の音色」/ 76.近藤 有美子「卒業後の自由な仕事」/ 77.南 秋穂「仕立て屋のラストオーダー」/ 103.トイネスト・パーク「HUGO TOYS」/ 78.新宮 克美「揺(よう)」/ 79.江口 康成「具須幾何文花器」



47. 45. 42. 39. 38. 41. 49. 43. 48. 46. 44. 46. 48. 46. 50. 59. 58. 50. 44.

# 精華學藝祭 特別展示

京都精華大学に所蔵されている貴重な作品の中から  
本学元教員の作品を選び展示しました。



90



67



65



64



107



66



63



105



108



106



110



104



109

63.麻田 脩二「マルからシカク」／ 64.斎藤 博「自画像」／ 65.芝田 耕「或る光景」／ 66.森本 勇「アルターユ通り」／ 67.金田 辰弘「裸婦とふくろう」／ 90.村上 泰造「FLOR DE DESIERTO」／ 104.伊谷 賢蔵「クスコーの教会」／ 105.塩田 千春「空っぽの空間(オランダの精神病院跡地)」／ 106.由里 明「サバンナ」／ 107.村岡 三郎「炭化(左腕)」／ 108.福井 勇「く美人草」／ 109.黒崎 彰「浄夜 49」／ 110.長岡 圓人「[ISEKI]シリーズ(PYXXX I)」



右から 山田 隆 (美術科絵画コース1970年度卒業)  
山元 英昌 (美術学部デザイン学科1991年度卒業)  
谷 眞美子 (英語英文科1970年度卒業)  
入江 完 (美術科絵画コース1969年度卒業)  
赤坂 博 (美術科絵画コース1969年度卒業)

開学50周年を記念して、木野会の歴代会長によるトークセッションが行われました。初代会長の赤坂博氏、第2代目の入江完氏、第3代目の谷眞美子氏、第4代目の山元英昌氏、そして現会長の山田隆氏の総勢5名により、開学当初から現在までを語りました。

開学当初のエピソードから始まり、学生時代の思い出の場所、大学のテーマでもある「自由自治」に対する思いまで、多様な話題で会場は盛り上がりました。

どんなに時代が移り変わろうとも、京都精華大学で培った自由自治の精神があれば、世界の中で自分の居場所を見つけ、活躍していけるのではないかと問いかけと共に幕を閉じた、トークセッション。歴代会長達のトークから、変わらぬ京都精華大学の精神を感じられた時間でした。

## 歴代会長トーク開催

## イベント &



多数の参加者がマーケットを開いたり、パフォーマンスやワークショップを行いました。

124.ラブライブ部 米's「Special Live 2018 ~ENCORE~」／ 125.浦本工房「クラフトマーケット」／ 126.江頭 伴枝「似顔絵 Energy art と もじむし」／ 127.大井 朋子「ワークショップ 羊毛フェルトアクセサリー 1日体験会」／ 128.大鳥 奈王「クラフトマーケット 藝祭マーケット」／ 129.マンガラ屋「ワークショップ 身体感覚を表現する」／ 130.木嶋 美香「演劇 父母と三姉妹」／ 131.きのちっく。「ライブ」／ 132.なまにさんかく「狐面絵付け体験」／ 133.圖越 康之「精華遺跡展」／ 134.鈴木 堅弘・松井 省悟・周防 苑子・藤野 裕美子「トーク 芸術と人文に境界はあるのか?」／ 135.Ryotaro「アコーディオン演奏」／ 136.竹中 道世「ペーパークイリングワークショップ クリスマスツリーのミニフレームを作ってみましょう」／ 137.K's Ensemble「管弦四重奏による演奏」／ 138.つーたwith鐘ヶ江涉「朗読」／ 139.三浦 久「ギター弾き語り」／ 140.HONEY「ジャズライブ」／ 141.arute49「物販(主に革製品)」／ 142.シゲケンジ「ライブペインティング」／ 143.寺本 圭佑「アイルッシュハーブ演奏」／ 144.山田 隆「オカリナの絵付けワークショップ」／ 145.第1期生同窓会／ 146.テキスタイル同窓会



100



101



98



80



84



82



81



115



102



99



111



89



88



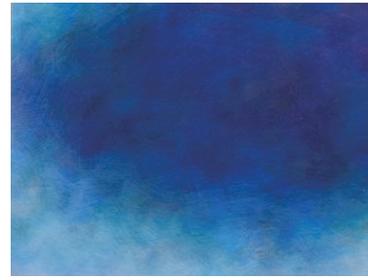
83



113



114



91



92



87



85



86



116



124



112



123



120



121



118



122



119



117



93



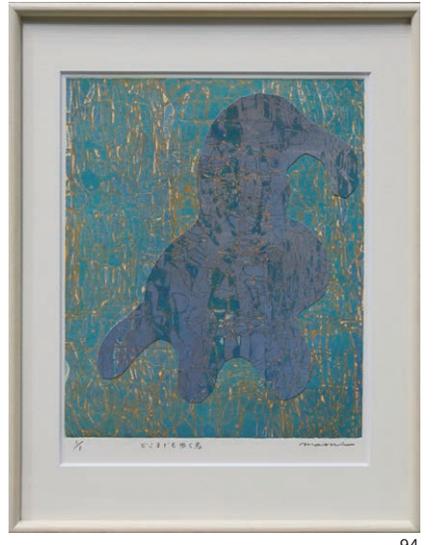
96



95



97



94

80.平岩 ともり「種」／ 81.藤井 智香「20羽の鳥」／ 82.波多野 聡「鬼瓦」[YUSEI][「役小角の鬼退治の物語。」]／ 83.菜鳥 雅代「木彫」／ 84.廣瀬 正子「Monde reve」／ 85.近藤 太一「榎岡持尺二寸」[吉野杉花手桶]／ 86.小川 幸枝「Jasmin」[Drop][Daisy]／ 87.神吉 臣人「サイドボードA」[チェアB(編座タイプ)]「チェアB(板座タイプ)」[ティーテーブル]「小抽斗(長3タイプ)」[ブックスタンドミニ][グラスフレイム(正方形)]「ミニフレイム」[マグネット付きオブジェ][オブジェ(世界の標本)]／ 88.高瀬 哲「葉地野描記素手39点」[高瀬哲が手がけたCM作品集(映像)]／ 89.山田 隆「響き」／ 91.中原 雅子「包みこまれてゆくもの」／ 92.小松 智「絵本 スリランカ絵日記」／ 93.一瀬 順子「キルフェボン」／ 94.城田 真澄「どこまでも歩く鳥」／ 95.国栖 晶子「地を踏みしめて巡回する天の恵みをいただくよ」／ 96.市川 リンタロ「閑楽書店」／ 97.溝縁 真子「GINGKO(銀杏)」／ 98.相田 実来「散歩」／ 99.木宮 彩乃「行く道」／ 100.関沢 享子「retrospection」／ 101.前田 裕「No title」／ 102.池田リリア「Oneness」／ 111.福山 智子「桶獣」／ 112.安藤 文子「ちょうどいいこと a.b.c.d」／ 113.三木 千穂「Pom!」／ 114.シゲ ケンジ「呪黙」／ 115.秋山 誉夫「Possibility 2018.11」／ 116.河崎 ゆり「首里花織」／ 117.長野 利喜子「9.11を思う」／ 118.奥谷 育代「語らい」／ 119.善田 康豊 作品名不明／ 120.松岡 信美「オーブ」／ 121.三谷 真理「Bird」／ 122.長野 博「White Line」／ 123.大屋 好子「ハイヒールとリボン」／ 124.谷河 昭子「森に懐かれて」

京都精華大学では「リベラルアーツの大学」「グローバルな大学」「表現の大学」を将来像に掲げ、実現に向けて取り組んでいます。その一環として、2017年、国際学生寮・修交館を開館しました。これは京都精華大学を国際的な場として盛り上げるための施策の一つです。修交館では、留学生と日本人学生がベアになり、一つの部屋で暮らすことで文化の違いを理解しながら成長していくことを目指しています。

ようになることで、文化の違いや意識のギャップを超えていけるのではないかと考えます。

京都精華大学の卒業生は、ご存知の通り、日本だけではなく世界中にいます。在学生の多様な情報を伝えるためにも、今後は世界に散らばるみなさん一つのネットワークで結びつけて、精華流の考え方を発表・発信していけばいいですね。

近年ダイバーシティやSDGsから見られるように、違いと共にいかに成長していくかということが重視されています。そんな中、アフリカ出身の私が日本に来て思ったのは、日本人には協調性がないという事実です。日本人は空気を読んで行動しますが、空気を読むと逃げると言い換えることができるのではないのでしょうか。だから自分の考えを伝えた上で、協調していくことが重要ではないかと考え、その訓練を修交館で積んでもらえたらと思います。

今後は、留学生比率を在校生の40%に増やし、教職員も30%を外国籍に、そして女性役職者の割合を増やしていきます。京都精華大学が小さい地球の



2018年12月1日に本学卒業生たちが集う「ホームカミングデー」を開催しました。

「精華学藝祭」の期間中、母校のキャンパスでは「ホームカミングデー」が開催されました。ウスビ・サコ学長と山田隆会長による挨拶から始まり、参加者は食事をしながら、旧友や恩師との再会を楽しんでいました。後半は、在学生の案内によるキャンパスツアーが実施され、かつて学んだ教室で油絵の具の匂いを懐かしんだり、新しい施設を見て驚いたり参加者は満足した様子。案内役の在学生たちも、先輩との交流を楽しんでいました。



新役員紹介



木野会 新会長

美術科絵画コース1970年度卒業

山田 隆 さん

昨年9月から、「木野会」会長を務めさせて頂いております「山田 隆」でございます。よろしくお願い申し上げます。(斉藤洋明 前会長有り難うございました)

“京都精華大学開学50年”“木野会設立30周年”おめでとうございます。紆余曲折の中、半世紀の歴史を経て約3万人の卒業生を輩出した、この我々の精華大を皆様方とともに支え見守って参りたいと思っております。

昨年12月には開学50周年を記念して、「精華学藝祭」を企画運営委員・参加協力者・学生の皆さん、並びに大学との連携のもと京都国際会館で開催できましたことは喜びとともに皆様方への感謝する気持ちで満ちております。有り難うございました。(今回の「精華人」で特集しております)

「木野会」の今後に関しましては、30年の歴史、今までの実践を踏襲するとともに、課題としましては、若い世代に引き継ぐこと・近畿支部の再構築・情報の活性化(ITの充実・大学との連携・事務局)等があります。これに関しましては、どうぞご理解頂き協力者を募っております。



木野会 新副会長

人文学部人文学科1995年卒業

永井 利行 さん

この度、木野会副会長に任命されました人文学部の永井です。

東海支部支部長も兼任しながらの任務になりますが卒業生の皆様、大学との共同イベントや各支部のイベントに、楽しく参加して頂けるよう同窓会を運営していこうと考えています。その為には、同窓会運営メンバーだけでなく同窓会員の皆様の意見や助言が不可欠です。

まずは気軽にイベントに参加してみてください。団体でしか体験できない楽しさもあります。皆様の参加をお待ちしています。

木野会の決算・総会のご案内・活動報告について

会計決算報告(2017年4月1日～2018年3月31日)、第32回木野会総会のご案内は木野会のウェブサイトにて公開いたします。その他活動報告などにつきまして、ぜひご覧ください。

木野会ウェブサイト ▶ <https://seikajin.com/>

追悼

下記に掲載されている諸氏が永眠されました

ここに謹んで哀悼の意を表すると共にご冥福をお祈り申し上げます

本法人元理事長・元学長・名誉教授 **笠原 芳光 氏**  
2018年11月10日 享年91歳

本学名誉教授 **ヨシトミヤスオ (吉富康夫) 氏**  
2018年11月22日 享年80歳

本学名誉教授 **森本 勇 氏**  
2018年4月25日 享年73歳

本学同窓会「木野会」常任理事 **菜島 雅代 氏**  
2018年12月13日 享年60歳

「精華学藝祭2018」は、皆さまのおかげで無事終了する事が出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

木野会歴代会長の座談会からはじまり、ライブ公演、演劇などが会場を盛り上げ、メインとなる作品展示では恩師の方々の特別展示をはじめ、卒業生、現役学生による力作が一堂に会した、見ごたえのある展覧会になりました。ウスビ・サコ学長の講演は、母校の未来が期待される非常に面白い内容でした。

2年8ヶ月間、この企画に携って頂いた企画委員会委員の方々、協力して頂いた大学の関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

京都精華大学同窓会「木野会」50周年記念実行委員長 奥谷卓則

50周年記念事業企画委員

- 奥谷 卓則 (美術科絵画コース1969年度卒業)
- 山田 隆 (美術科絵画コース1970年度卒業)
- 中井 一男 (美術科絵画コース1970年度卒業)
- 寺島 廣美 (美術科絵画コース1969年度卒業)
- 本吉 誠一郎 (美術科絵画コース1970年度卒業)
- 小堀 達夫 (英語英文科1969年度卒業)
- 今村 敬子 (美術科染色コース1971年度卒業)
- 一瀬 順子 (英語英文科1969年度卒業)
- 荒賀 依右子 (英語英文科1969年度卒業)
- 吉田 真弓 (美術科染色コース1973年度卒業)
- 伊藤 敬子 (美術科染色コース1970年度卒業)
- 河崎 晴生 (美術科デザインコース1972年度卒業)
- 写真撮影 秋山 誉夫 (美術学部デザイン学科1988年度卒業)

**! その他の地域の皆さまへ**

お近くに支部がない場合は、木野会本部までお知らせください。今後、会員からの要望があれば、北陸、中部、東北、北海道地区での支部の設立も検討したいと考えています。また近年、母校では留学生の数が 증가していますので、台湾支部の復活など、海外支部の立上げも検討しています。

**お問い合わせ先**  
kinokai@kyoto-seika.ac.jp (木野会事務局)

**木野会本部**

木野会本部は何をやっているのか？  
年に1回、全国の会員を対象にした「総会」の開催をはじめ、木野会全体の年間活動計画や予算を決めたり、会報やウェブサイト運営をしています。そのために、年に4回ほど「理事会」を開催しています。

**連帯力はNo.1!**

**韓国支部**

設立年: 1998年  
対象エリア: 韓国全土  
会員数: 約140名  
支部長: チェ・ヨンチョル (芸術研究科デザイン専攻2002年度卒業)  
名産品: 韓国のり  
問合せ先: jineex@gmail.com  
(副支部長: リ・ジンヒ 芸術研究科デザイン専攻2003年度卒業)

どうすれば木野会に参加できるの？  
という声にお答えします。

**木野会 支部紹介**

木野会は1988年に設立してから31年。  
現在の会員数約16000人。8つの支部を展開。  
あなたも年に1度は、木野会の活動にぜひ参加してください！  
まずはお住い最寄りの支部窓口まで。  
他地区の支部イベント参加も大歓迎です！

**設立10周年!**

**関東支部**

設立年: 2009年  
対象エリア: 東京、神奈川、埼玉、群馬、栃木、茨城、千葉  
会員数: 約1000人  
支部長: 宮脇誠 (美術学部デザイン学科1983年度卒業)  
名産品: 東京バナナ  
問合せ先: seika\_kantou@yahoo.co.jp (支部長: 宮脇)

**イベント企画力No.1!**

**東海本部**

設立年: 2001年  
対象エリア: 愛知、岐阜、静岡、三重  
会員数: 約930名  
支部長: 永井利行 (人文学部人文学科1995年度卒業)  
名産品: 海老せん  
問合せ先: kugibat4649@yahoo.co.jp (支部長: 永井)

**毎年、信楽火まつり松明奉納参加!**

**滋賀支部**

設立年: 2000年  
対象エリア: 滋賀  
会員数: 約1200人  
支部長: 北井和歌子 (美術科デザインコース1974年度卒業)  
名産品: 鮎寿司  
問合せ先: onelove\_yu@yahoo.co.jp (副支部長: 下戸優 人文学部人文学科2002年度卒業)

**ビーチパーティー開催率No.1!**

**沖縄支部**

設立年: 2007年  
対象エリア: 沖縄  
会員数: 約60名  
支部長: 小野あきお (人文学部人文学科2001年度卒業)  
名産品: 泡盛  
問合せ先: ryukyuseika@gmail.com (支部長: 小野)

**アーティスト活動率No.1!**

**九州支部**

設立年: 2005年  
対象エリア: 福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島  
会員数: 約400人  
支部長: 高田まさみ (美術科染織コース1971年度卒業)  
名産品: めんたいこ  
問合せ先: east\_river\_up@yahoo.co.jp (事務局: 江口康成 美術学部造形学科1991年度卒業)

**対象エリアの広さNo.1!**

**西日本支部**

設立年: 1996年  
対象エリア: 鳥取、岡山、島根、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知  
会員数: 約1300人  
支部長: 秋山蒼夫 (美術学部デザイン学科1988年度卒業)  
名産品: うどん煎餅  
問合せ先: gate@chorus.ocn.ne.jp (支部長: 秋山)

**期待度No.1!**

**近畿支部**

設立年: 2003年  
対象エリア: 大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山  
会員数: 約10000人  
支部長: 募集中  
名産品: 阿蘭梨餅  
問合せ先: kinokai@kyoto-seika.ac.jp (木野会事務局)

支部ごとの会員数については、登録住所をもとに集計しています。